



# 第37号

平成23年5月19日発行  
千葉県漁業士会銚子支部  
＜事務局＞  
千葉県銚子水産事務所 改良普及課

## 全 域

### 東日本大震災

平成23年3月11日14時46分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震(東北地方太平洋沖地震)が発生しました。この地震により東北地方～関東地方の広い範囲で強い揺れが発生し、太平洋沿岸では高い津波が観測されました。津波により、銚子～九十九里地域では、漁船の転覆、乗揚げ、流出、漁具や自動車の港内転落、土砂の港内堆積、上架場などの漁港施設が使用できないなどの被害を受けました。当支部会の漁業士の中にも漁船に大きな被害を受けた方、自宅が浸水した方もいます。被災後、漁船を修理し、一日も早く漁を始めたいと願い、復旧作業を進めています。



<被害の大きかった飯岡漁港での復旧作業>

しかし、「東日本大震災」と呼ばれる、地震及びこれに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故による災害は、現在も継続中であり、漁業者の不安は高まっています。特に東京電力が事前の連絡なしに、放射性物質を含む大量の汚染水を海に放出したことは許せず、漁業者への配慮というより海への思いが欠如しており、その対応に怒りを禁じ得ません。漁業者は、一分一秒でも早い事態の収束を願う日々を送っています。

## 銚 子

### がんばろう！千葉キャンペーン

震災後の農水産物の買い控えや観光などの自粛を解消するために、そごう千葉店で「がんばろう！千葉」キャンペーンが4月26日(火)から5月9日(月)まで開催されました。

期間中の4月29日(金)には、千葉県の森田知事と生産者(JAちばみどり、銚子市漁協、勝浦漁協など)が参加したイベントが行われ、銚子漁港(キンメダイ、ヤリイカ)と勝浦漁港(カツオ)から直送された魚の試食販売がありました。銚子市漁協キンメ船団の金野・山口・田邊・鈴木・谷川漁業士たちも参加し、脂の乗ったキンメダイの刺身を来場者に配布し、「銚子つりきんめ」の安全と美味しさをPRしました。



## 銚 子

### 銚子の元気つたえ隊

4月17日(日)、銚子市漁協(外川地区)のキンメダイ漁業者は銚子市観光キャラバン「銚子の元気つたえ隊」に参加し、埼玉県の川口市立グリーンセンターで、原発事故の風評被害を吹き飛ばすため、銚子の魚の安全性をPRしました。



会場では、銚子港に水揚げされたホウボウ(鮮魚)の無料配布、キンメダイの煮つけとあら汁の試食配布が行われました。金野・山口・田邊・鈴木漁業士、加瀬女性漁業士をはじめとする漁業者たちは「銚子の魚は絶対に安全です。キンメダイを食べてください。」と来場者に呼びかけました。また、銚子市の野平匡邦市長も一緒に、銚子の観光とともに銚子の魚もPRしていただきました。



晴天に恵まれ、約2,000人が訪れ、家族連れも多くは、芝生の上でお弁当と一緒に煮つけとあら汁を味わいました。子供たちから「おいしいキンメ、ありがとう。」とお礼を言われ、漁業者たちはイベントに参加した甲斐があったと語っていました。

## 九十九里

### 「うめっぺよ！九十九里」

#### -いわしの元気を届け隊-

4月30日(土)、イワシの町である九十九里町では、国民宿舎サンライズ九十九里において、「うめっぺよ！九十九里」-いわしの元気を届け隊-というイベントが開かれました。

原発事故の風評被害により、銚子・九十九里地域のまき網漁業では、特にイワシについては一時、半値以下にまで価格が落ち込み、現在でも水揚げ量の制限や出漁日数の制限に追い込まれ、非常に厳しい経営環境になっています。

そのため、安全であることを「見て・知って・食べて」もらうことを目的に、九十九里漁協をはじめ、九十九里町水産加工協同組合、JA山武郡市、商工会等の団体が集まり、試食会を行いました。会場では、いわしの団子汁、ごま漬、みりん干、丸干等の水産物だけでなく、きゅうり、トマト、なす等の農産物も無料でふるまわれ、訪れた観光客や地元住民の方々と一緒に「風評被害をぶっとばせ！」と氣勢をあげました。



<挨拶をする小栗山組合長(指導漁業士)と無料試食会場>



## 「旭市いいおか港・水産まつり」 の中止

6月12日開催予定の「旭市いいおか港・水産まつり」は、震災の影響により中止となりました。

平成19年から行われている水産まつりは、地元で獲れた新鮮な魚介類を販売し、毎年多くの人を訪れるイベントになっていました。しかし、巨大地震から2か月が過ぎた今も、飯岡漁港の敷地では瓦礫の処分作業が行われ、岸壁には修理中の漁船があり、復旧にはまだ時間がかかるため、中止はやむを得ません。

地元の海匝漁協では、修理の終わった船から操業を再開し、4月1日から刺網漁業、同18日から貝桁網漁業が始まっています。また、5月15日からしらうお船びき網漁業が解禁され、徐々に元に戻りつつあります。カタクチイワシ水揚げ量日本一になったことのある飯岡漁港に、一日も早く、まき網漁業の水揚げが再開されることを願います。



<飯岡漁港に置かれた瓦礫の山>



<陥没した飯岡漁港の上架場>

## 第1回銚子支部会開催

4月9日(土)に千葉県漁業士会銚子支部会を開催し、漁業士11名が出席しました。

支部会では、平成22年度活動実績の報告、平成23年度活動計画等について協議しました。

今年度も、水産への理解を深めてもらうために、小学生等を対象とした青少年水産教室、食育に関する料理教室などへ赴き、活動していきます。

また、東日本大震災に関して、出席した漁業士からは、近隣の被災状況を心配する声、自分たちでできる被災者支援の活動(水揚げしたら魚一尾分を募金する等)の検討、東京電力へ抗議したい気持ち、国・県の震災復旧支援や原発風評被害対策の状況などについて、多くの意見が出ました。支部会では、通常の活動に加え、震災に対応した活動にも取り組んでいきたいと思っております。



## お知らせ

### 1. 被災漁業者の支援について

災害復旧の漁船等の導入資金などについて、被災した漁業者が利用できる無利子の融資制度があります。融資条件等については、下記の相談窓口にお問い合わせください。

#### ①日本政策金融公庫の資金

【相談窓口】日本政策金融公庫

電話 0120-154-505 (平日 9~21時)

電話 0120-926-478 (土日祝日 9~17時)

#### ②漁業近代化資金

【相談窓口】お近くの漁協・信漁連へ

### 2. 「がんばろう千葉」キャンペーン

千葉県では、「千葉の復興の力になりたい」という一人ひとりの思いをつなぐキャンペーンを展開しています。第一弾の「ちば産品応援隊」は、千葉県産の野菜や魚、肉などを積極的に食べて、PRして、千葉を元気にするものです。隊員になると、「隊員証」と「チーバくんのバッジ」がもらえます(応募期間6月30日(木)まで)。



【「ちば産品応援隊」の申込先・問い合わせ】

〒260-8667(住所省略可) 千葉県報道広報課「がんばろう千葉」担当

電話 043(223)2242, FAX 043(227)0146

## 新任の挨拶

4月の人事異動により、事務局である銚子水産事務所の職員が変わりました。

前任の清水所長が千葉海区漁業調整委員会事務局副技監兼 副局長へ異動になり、平田上席普及指導員は県庁農林水産部水産局漁業資源課へ異動になりました。後任には、勝浦水産事務所から深代所長と水産総合研究センターから山下普及指導員が着任いたしました。

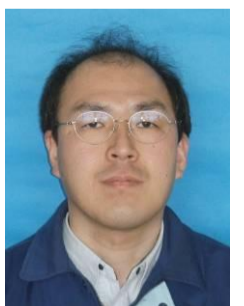
#### 深代所長

このたび所長として赴任した深代です。銚子は今回で2回目の赴任となります。以前銚子にいた時には、漁業調整に関する業務を担当していました。今後も沿岸・沖合漁業振興のため微力ながら頑張っていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。



#### 山下普及指導員

4年ぶりに銚子へ戻ってきましたので、再びよろしくお願いいたします。漁業士会と銚子市(外川地区除く)の普及区を担当します。



ご意見やご感想、情報提供などありましたら、

千葉県銚子水産事務所 改良普及課までご連絡ください。

連絡先：電話 0479-22-8397(代), FAX 0479-22-9168

